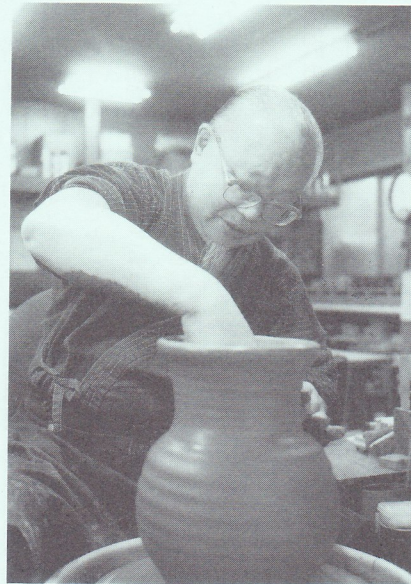


横浜備前焼

チャリティーバザール 展示即売会の開催

～当協会へ多額の浄財を献金～



するとともに金沢区の文化発展に寄与するため、同氏のご厚意で開催したものである。来客の中には本場備前焼や横浜備前焼の大ファン・親の結婚式プレゼントに買った人などがいた。最終日の21日には、オークションが開かれ、これも好評だった。今回のチャリティーバザールの売上金の中から、当協会は多額の浄財を賜った。当協会は、本年

1月17日の新年会の席上、同氏に感謝状を贈呈し感謝の微意を伝達した。

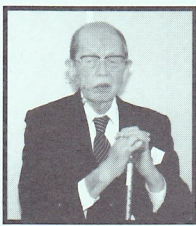
NPO法人 横浜金沢文化協会会報

し
お
さ
い

NPO法人
横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 後藤 政也
理事 幸栄印刷(株)
☎ 716-3366

平成22年11月14日(日)から11月21日(日)まで、金沢八景駅西側の茅葺屋根の屋敷内で、「横浜備前焼チャリティーバザール展示即売会」が、横浜金沢文化協会(以下「当協会」)の主催、金沢八景の自然と史跡を守る会の共催、六浦地区連合町内会・横浜金沢観光協会の後援で開催されました。

横浜備前焼は、当協会顧問の陶芸家・木村隆男氏(旧東照宮神官末裔)が、本場岡山の備前陶芸家で人間国宝の故・藤原雄氏のもとで修業され、昭和63年から敷地内に登窯(悠心窯)を築窯、備前焼作陶活動を開始されるとともに「陶芸クラブ」を併設されて会員数が80人に達しています。原料の土、窯の様式、燃料の松材などは全て、岡山(備前)と同じ工程で造られ、二人目の恩師・難波氏から「横浜備前焼」と称することを許可された。今回、横浜備前焼を広く知ってもらうことと、木村氏の傘寿を記念

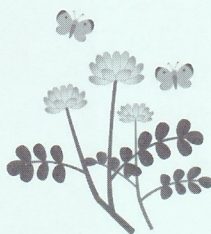


故・助川元会長

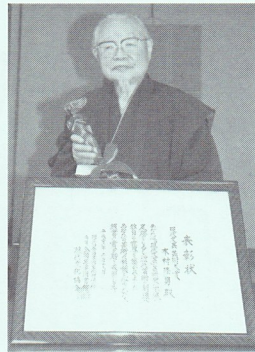
元金沢区文化協会会長・助川信彦氏が、昨年10月ご逝去されました。享年92歳。ここに、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

NPO法人横浜金沢文化協会一同

逝去謹悼



木村氏は、自ら製作された「水差」をタイ王室に献上されたことにより、本年1月タイ王室から勲章を贈呈されるという名誉に浴されました。更に本年2月には、現代文化協会から「現代文芸芸術大賞」を贈られ表彰されるという慶事を享受されました。



木村隆男氏の 慶事朗報

金沢の歴史講演会

『瀬戸神社と金沢』



横浜金沢文化協会恒例の秋の歴史講演会を、10月31日(日)午後、金沢公会堂に瀬戸神社宮司・佐野和史氏を講師にお迎えして開催しました。佐野宮司は「古事記」に基づきアカデミックに講演されたので、参加された皆様は大変満足されたのではないかと思います。

瀬戸神社の主祭神は大山祇命おおくまのみことで、愛媛県大三島の大山祇神社、静岡県おひまわりのみちの三島大社の祭神と同神で、港の神、海上渡航の神、交易の神として古来より信仰され、交通安全・旅行安全・商売繁盛の守護神として知られています。また名前の示す通り山の神であり、森林・水源を司ることにより人間の生命に直結する働きを顕しており、金属・岩石・木材・鳥獣・草花などの建築資源・生活資源もこの大神の恩恵によるものです。そのほか配祀神・合祀神・境内社等に多くの神々が祀られております。また大昔は泥亀町から釜利谷東一帯の入江と平潟湾が瀬戸橋で狭い海峡となり、潮の干満時に渦を巻いて出入りする所謂「せと」が罪穢れを流し去る神聖な所で、ここに神々をお祀りしたのが瀬戸神社の起源です。発掘された祭祀遺物から古墳時代に遡ると考えられます。

その他、六浦・金沢の地名、朝比奈切通しの開削、権現山と円通寺東照宮等々地元との関わる話に皆さん引きこまれましたが、時間切れのため最後までお聞きできなかったのは大変残念でした。改めて佐野宮司に御礼を申し上げます。



金沢区美術展などの開催

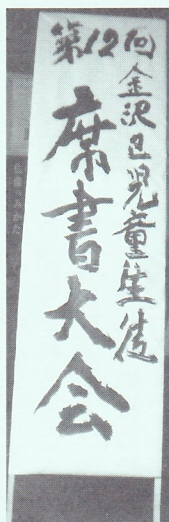
金沢区美術協会では、昨年11月、能見台地区センターにて、第3回金沢区美術展を開催いたしました。

金沢区に多くの美術愛好者が住まいしていることを実感しました。そしてそのジャンルの広さや、レベルの高さも申し分なく、招待の他区美術関係者にも頼もしく思われて、これからの交流が楽しみです。

さて、新年を迎え、美術協会では、金沢区役所1階の活動センターギャラリーにおいて、新春小品展を開きました。今年の晴天続きの好日、16日から29日まで、前半は昨年行なわれた合同スケッチ旅行の力作で、富士の麓、朝霧高原の田貫湖畔の景観が皆さんを魅了しました。

後半は輝ける一年を迎えての小手調べ、春の想いや自らの希望を讃えての出品です。8号以下の小品ですが50点の多さ、それぞれの意気込みが伝わってきました。

皆さんも絵を描いて、楽しい人生を送りませんか。側にいる会員が優しく教えてくれますよ。



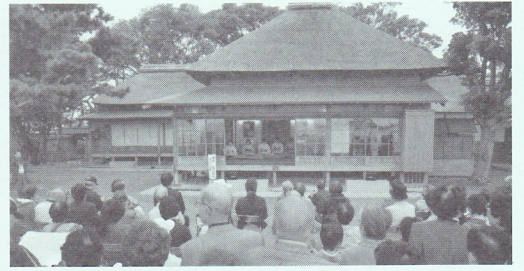
金沢区書道協会は、平成22年9月26日(日)、金沢地区センター体育館で、横浜金沢文化協会と共催し、金沢区役所の後援を受けて、金沢区児童生徒席書大会を開催しました。

区内の小・中・高校の児童・生徒が一堂に会して席書するこの大会も第12回を迎えました。参加者は63人、各学年ごとの課題に真剣に取り組み、

力強く筆を運んでいました。金沢区長賞・横浜金沢文化協合理事長賞をはじめ、沢山の賞が優秀作品に輝きました。

第2部の自分の好きな一文字を大きな紙に書く「大字書き」になると、参加児童の目は輝いて、大きな筆を自由に動かし、作品作りに励んでいました。

旧伊藤博文金沢別邸 復元一周年記念祭



平成22年10月24日(日)、野島公園内の旧伊藤博文金沢別邸で、復元一周年記念祭が同別邸運営協力会に加盟する横浜金沢文化協会と(財)横浜市緑の協会などと共催で開催されました。一般催物の他に、

金沢茶道会による茶席が「夕照の間」で独立した形で午前10時から開かれ、茶道愛好家で終日賑わっていました。

一般催物では、午後の歓迎音楽として野島囃子保存会による「野島囃子」が前庭で演奏され、開会挨拶、金沢区長祝辞のほか式辞終了後に、野島童謡の会「帰帆」による合唱(故郷・紅葉ほか)、金沢三曲会による箏曲(千鳥の曲)、雅謡会による謡曲



少年セミナーによる謡曲(放下僧)、金沢区吟剣詩舞道連盟による吟詠(金沢八景)と、8グループによって演じられ、参加者は広々とした海を前に、復元一周年記念祭を満喫していました。

第9回 クリスマス・コンサート —金沢吹奏楽団—



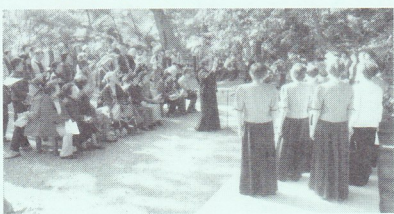
恒例のかなすい(金沢吹奏楽団)のクリスマス・チャリティー・コンサートも9回目を迎えました。「りんごの森」や「わっしょい」の皆様へのチャリティー総額も80万円を超えることになりましたので、先ずはご報告申し上げますと共に、毎年のご支援に心より感謝申し上げます。

もちろん、今年も横浜金沢文化協会国際交流事業の一環として、区内在住の海外からのお客様をお招きし、世界共通のことば「音楽」を通して日本のクリスマスのひと時をお楽しみいただきました。

「かなすい」は今年で創立50周年を迎えます。昭和36年の創団時、とつても田舎だった金沢区もあつという間に山々が住宅やマンションへ、田んぼや畑がスーパーやファミレスへと変貌を遂げました。そんな時代の変遷の中、地域の皆様のご支援と共に歩んで参りました「かなすい」は、これからももっと沢山楽しい演奏会をお届けしますので、引き続きご愛顧・ご支援の程よろしく願いいたします。

次のコンサートは4月24日の「スプリングコンサート」です。金沢公会堂へ皆様ぜひお運びください。

秋・三松庵でのコーラス
京浜急行がすぐ脇を走っている旧川合玉堂邸敷地内には、茅葺き屋根の三松庵と一段小高い見晴らし台には立派な舞台が設けられていました。最高の天気にも恵まれた11月6日(土)、女声合唱団ひまわり会は、野外コーラスで、「八景慕情」をメインとして歌いました。一日一回の演奏では、ラ・ノヴィア、花、すみれの花咲く頃、また君に恋してる、ブルーライト・ヨコハマの5曲を歌ったほか、「また君に恋してる」と「ブルーライト・ヨコハマ」の2曲は、会場の皆さんと一緒に歌うことが出来ました。歌声は緑の自然の中に溶け込んで行き、幸せな一日でした。

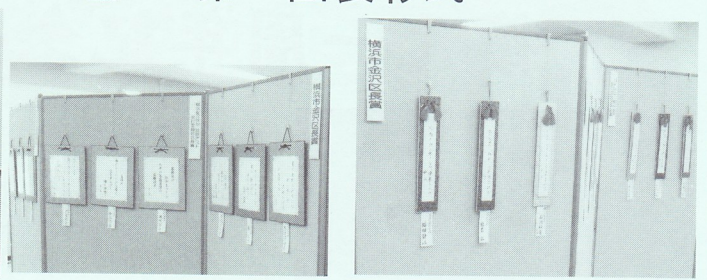


国際交流 第2回 金沢ラウンジフェスティバル

第2回金沢ラウンジフェスティバルが11月6日(土)、金沢公会堂で開催されました。国際協力・国際交流の活動紹介と文化紹介の発表。西金沢小・中学校とオーストラリアの学校との交流。3人の小学生が「イソップ物語」を日本語と母国語で朗読。市大英語講師のチェロ演奏。「ムエタイ」の実技。韓国の打楽器サムルノリ演奏。各国大使館員日本語スピーチコンテスト2010大会受賞者であるネパールとキルギスの駐日大使館員は、日本語で母国の紹介。津軽三味線の素晴らしい演奏。市大生とカンボジアの青年との交流。会場の皆さんと一緒にサルサダンスを踊ったり、和やかな雰囲気でした。最後は、市大吹奏楽団「奏(かなで)」による迫力ある演奏で終演しました。私たち「野の花コーラス」は、皆で歌おう「日本の歌」を野村先生の独唱に始まり、最後に「紅葉」を会場の皆さんと一緒に歌いました。



「横浜金沢を詠う」 第4回表彰式



平成22年度前期 俳句・短歌表彰式
 横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催
 「俳句短歌ポスト制度」の第4回(平成22年度前半期)表彰式が昨年10月25日、金沢区民活動センターにて行われました。
 次に被表彰作品を紹介いたします。

【俳句の部】

*横浜市金沢区長賞

(天位) 河馬の仔の大きな欠伸春うらら

(地位) 金沢区釜利谷西 福田 静江

(地位) 紫陽花に触れさせ車椅子休む

(地位) 金沢区寺前 椎名 弘

(人位) しおかぜがそよよふくよかなざわ区

(地位) 磯子区馬場町 (不筆)石川 紗月

*横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

(天位) 海風や八景島の七変化

(地位) 泉区和泉町 和田 光子

(地位) 紫陽花や沖の巨船の動かさる

(地位) 栄区笠間 稲塚のりを

(人位) 八景の波おだやかに風光る

(地位) 千葉県君津市高坂 磯貝 誠次

*NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 区の花の牡丹見頃や博文邸

(地位) 金沢区釜利谷南 橋場 美篤

(地位) 梅雨の月博文邸の石灯籠

(地位) 金沢区富岡西 大川 一馬

(人位) 暑き日にはつけいじまはかがやくよ

(地位) 山形県酒田市 (不筆)佐藤 丞

*横浜金沢観光協会賞

(天位) 木漏日の揺れて若葉の能見堂

(地位) 栄区本郷台 秋元 孝之

(地位) 春潮の香の吹き抜くる博文邸

(地位) 金沢区能見台 松尾 京子

(人位) 鰯の子の泳ぎ必死や侍従川

(地位) 金沢区六浦南 鈴木 正

*NPO法人横浜金澤シティガイド協会理事長賞

(天位) 山笑ふコアラの親子ねむらせて

(地位) 金沢区釜利谷西 鏡 保太郎

(地位) さみどりの一服たまふ牡丹寺

(地位) 金沢区釜利谷西 蛸子 雷児

(人位) 秋風よゆらせよゆらせコスモスを

(地位) 金沢区釜利谷東(不筆)川原田美希

【短歌の部】

*横浜市金沢区長賞

(天位) 昼の月映りるがにゆらゆらと

(地位) 汽水の川を水母浮きゆく

(地位) 金沢区泥亀 米長百合子

(地位) 吹きちぎりさうな嵐に鯉のぼり

(地位) 連なり泳ぐ自然公園

(地位) 金沢区釜利谷東 秦 正子

(人位) たくさんの虫の標本あるんだな

(地位) 勉強になる自然公園

(地位) 太田区千鳥 (不筆)曾我辺萌香

*横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

(天位) 菩提寺の牡丹まつりに天平の

(地位) 菩薩坐像の温顔拝す

(地位) 金沢区洲崎町 磯崎 百合

(地位) 空をみ雨のシーバラほろ苦く

(地位) 空を見上げて陽の街想う

(地位) 台東区根岸 橋本 浩昌

(人位) あじさいは青いあじさいはじいだな

(地位) でもそのうちにしほんじゅう

(地位) 金沢区谷津町 (不筆)伊藤 帆南

*NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) のけ反りて仰ぐ火花の痕跡が

(地位) 間に溶けこむ海の公園

(地位) 金沢区堀口 木村 靖一

(地位) 平瀧の入江を渡るモノレール

(地位) 眼下に見えて静に動く

(地位) 横須賀市鷹取 阿部 文彦

(人位) 峠登り一息つけば八角堂

(地位) 古の想いそよ風となれ

(地位) 金沢区東朝比奈(不筆)杉本ありさ

*横浜金沢観光協会賞

(天位) 金沢の海とみどりにあこがれし

(地位) 玉堂、清方この地に庵る

(地位) 金沢区六浦 佐藤 良二

(地位) 休日海の公園にぎやかに

(地位) パレーポールの父への声援

(地位) 金沢区平瀧町 本間 和子

(人位) 大潮の柴の浅海に腕入れて

(地位) 地球まさぐりアサリを探す

(地位) 金沢区西柴 内藤 和子

*NPO法人横浜金澤シティガイド協会理事長賞

(天位) 富岡の海に癒され執筆の

(地位) 文豪直木の姿生きづく

(地位) 金沢区富岡西 五味 夏子

(地位) 龍筆寺の牡丹まつりは上天気

(地位) 秘佛に添筆嬉し一日よ

文芸部活動報告

金沢区民俳句(吟行)大会結果

金沢俳句会では、昨年10月24日、金沢自然公園にて吟行後、同園内の「のはな館」に、21人の俳句愛好者が集い、第11回金沢区民俳句(吟行)大会を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 墨絵めく一望の景秋深む 惣野 圭子
- なんだろ坂くだる加速に秋深し 戸田 澄子
- 秋惜しむなんだろ坂の遠景色 鈴木 勇夫
- 幽かなる草の揺れあり昼の虫 鈴木 正
- 秋霞墨絵めくなり海と山 福田 志津
- 甲高き声の木霊す花芒 小幡 友子
- 自己主張せずして咲くや秋の草 鈴木 祥代
- 晩秋の自然公園色そぞろ 大谷 祥二
- 海望む釜利谷台地秋化粧 小俣 悦男
- メルヘンのこども広場に谷紅葉 深沢 勝美

金沢区民短歌大会結果

金沢区民歌人会では、昨年10月30日、八景コミュニティハウスに、短歌愛好者31人を集めて、「金沢区民短歌秋季大会」を開催しました。次に上位の方の作品を紹介します。

- 丹羽さんといふ名入れのトマト今日も買ふ 佐藤 良二
- シールの笑顔に呼びとめられて 松本 嘉猷
- 半生を鋼の研究にかかはりし吾の冠動脈に ステント埋める 朝井 恭子
- 夫の霊の連れ来しならむ法師蟬「つくつく 恋ほし」と窓の辺になく

横浜金沢文化協会の 缶バッジの制定



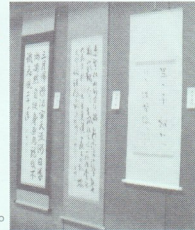
昨年、会員の要望と発案により、横浜金沢文化協会の会員用「缶バッジ」を制定・作成して、会員に配布致しました。活用されていますか？普段着の襟や帽子に付けて活用している例を散見しますが、文化協会の宣伝・広報のために有効に活用願います。「このバッジはなんですか？」と聞かれたら、すかさず文化協会の存在意義等を説明して、加入勧誘に努めて下さい。

第22回 金沢区民文化祭



同文化祭は平成22年10月13日(水)～12月12日(日)の間、金沢区民文化祭実行委員会主催、金沢区役所共催、NPO法人横浜金沢文化協会後援で実施されました。

★区民の作品展＝10月13日～17日の間、金沢地区センター体育館で開催され、会場入口には金沢華道会による大きな作品が飾られ華やかさを添えていました。書道・絵画・写真・文芸作品・手工芸品等約600点の素晴らしい作品が展示され、約1,800人の観客の心を和ませていました。



★華道展＝別項の通り
★お茶会＝10月17日、金沢地区センター2階和室とロビーに席が設けられ、訪れた約220人の方々が、改めて日本の

の伝統文化の奥深さを心から堪能していました。

★吟と舞の祭典＝別項の通り
★金沢区音楽のつどい＝別項の通り



★金沢区日本舞踊連盟公演＝12月5日、金沢公会堂で開催され、約500人の観客は、たゆまぬ修練が生む美しく華やかな伝統の日本舞踊に酔いしれていました。

★金沢区小・中学校音楽祭＝12月12日、金沢公会堂で開催され、区内8校の小・

中学校生徒の1,000人の聴衆に大きな感動を与えました。

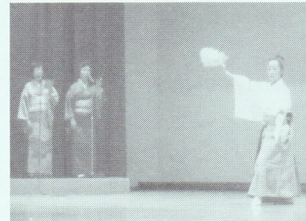


華道展

金沢華道会は、金沢区民文化祭参加の一環として、10月16日～17日の間、金沢地区センター大会議室で、華道展を行い、観客の目を楽しませました。金沢華道会は、草木と語らい、花を愛でつつ、四季折々の稽古をしており、毎年、会員一同流派を越え互いに親睦を重ね、大きい作品から小品まで展示して来ましたが、今回は、作品約30点を展示しました。観客から「いい香りがする」「元気が頂いた気持ちになった」とかの好ましい感想を頂いています。前日の生けこみから、毎朝の手直し片付けまで、多忙な中にも和氣藹々のうちに終わりました。



第12回 吟と舞の祭典



金沢区吟剣詩舞道連盟は、金沢区民文化祭の一環として10月16日、金沢公会堂で、「第12回吟と舞の祭典」を開催しました。恒例の「金沢八景詩」の吟詠、今年度は宇野元治朗・忠夫父子作の漢詩と京極高門の和歌を各会が吟じました。吟詠・剣舞・詩舞に、歌謡吟詠コンクールと例年通りのプログラム。ここで、大会のメイン

イベントの構成番組を紹介します。「戦国時代」「明治維新」又は「四季の花」など一つのテーマを選び、剣舞・詩舞・書道吟また、スライド・動画などを用いて、立体的に表現するものです。今回は、「詩歌の旅・北から南へ」と題し、数多い古今の詩・和歌・俳句の中から日本各地に因んだものを17首セレクト。北方領土を望む「知床旅情」から南は沖縄の歌「てんさぐぬ花」まで、芭蕉の俳句、啄木の短歌、坂本竜馬を詠んだ漢詩等、会員の熱演で会場を盛り上げた50分間でした。

金沢区 音楽のつどい

金沢区音楽のつどいが、10月24日(日)金沢公会堂にて開催され、第1・2部では、区内で活動している27団体が一堂に会し日頃の練習の成果を発表しました。第3部では、節目の30周年記念事業として、「金沢区音楽のつどい」の登録団体と金沢区内に広く参加者募集をして132名の個人参加で結成された「金沢区混声合唱団」が、エレクトーン伴奏で、ドイツ語・ラテン語のミサ曲を演奏し、荘厳な響きが会場いっぱいに広がり、立ち見も出るほどの満員の盛況裡に終演いたしました。



第6回 わか音さ輪公演

平成22年11月28日(日)、金沢公会堂で「か音さ輪」公演が子供達に分り易い演出で行われました。

第一部は、神話「あまのいわと」と「やまたのおろち」の話を、「鎮守の森のかたりべ会」が、分り易い解説を入れ、芝居に合わせた雅楽の演奏で、盛り上げていました。

次に、「木遣唄」と「祭囃子」を地元「六浦・三艘屋台保存会・囃子連」が、舞台いっぱいには笛・太鼓・帆掛け舟などを配して演奏しました。この唄と囃子は、横浜市の無形民族文化財に認定されています。

第二部は、金沢の民話「日荷上人」の話を、富岡在住の歴史研究家・酒井宣子先生が、自筆の絵画を紙芝居様に用いて、行いました。



神話と金沢の民話 フェスティバル



次に、能の曲で瀬戸神社が舞台の謡曲「放下僧」を「六浦子供セミナー」が、日頃の練習の成果を披露しました。

続いて、「釜利谷童謡を歌う会」による合唱(ぞうさん・お星さま・山羊さんゆうびん・ほか)と、地元作詞家・作曲家による歌の「八景慕情」を歌って頂きました。最後に、「八景駒太鼓」の若い元氣な皆さんの、舞台と観客席を賑やかに廻りながら和太鼓を打ち鳴らす演奏の内幕が下りました。



横浜並木男声合唱団 第7回定期演奏会

～我等斯く唱えり！踊れり！YNDG～

残暑なんてものでなく、猛暑の中、平成22年9月12日、MM大ホールに2,000人の大観客を集め、全5ステージからなる演奏会を終えました。

1. 『FOR YOU-優しさは永遠に』
2. 『INTO YOU-心の中まで届け』
3. 『BY YOU-男は振り回され』
4. 『WITH YOU-ピアノの音色とともに』
5. 『AKU YOU-あれもこれも阿久 悠』

にて構成されましたが、お客様はどの様に感じられたのでしょうか。当団のHPより2人の方の感想をまとめて誌上再録いたします。

以前にパフォーマンスの凄さに驚かされたが、今回

はまっとうな男声合唱から始まり、どう見ても平均年齢の高い面々が、ピンクレディーの振り付け、ウルトラマンの衣装の赤いライトまで、観客を充分楽しませてくれました。指揮者・ピアニストの先生も素敵な合唱団です。以上のようなお褒めを頂き、団員一同感謝感激の演奏会でした。



区民ランチタイム・コンサート

～金沢区民活動センター内交流コーナーにて～



バレンタインによせて

2月14日、金沢区民活動センター内交流コーナーでの区民ランチタイム・コンサートに、女声合唱団ひまわり会が出演しました。

「バレンタインによせて」と題して、森川先生指揮・滝本先生のピアノ演奏により、ブルーのブラウスに統一された合唱団が、中高年層が超満員の会場を前に、昔懐かしのメロデー「春の唄」など8曲を熱唱しました。観客は、「ブルーライト・ヨコハマ」では目を輝かせ、「すみれの花咲く頃」では、うっとりとした表情で聴いていました。最後に「学生時代」と「また君に恋してる」の2曲は、聴衆を入れての合唱になりました。懐旧の念と懐かしのメロデーが一体となった実に楽しい一時が流れて行きました。

お琴は情景描写が得意です

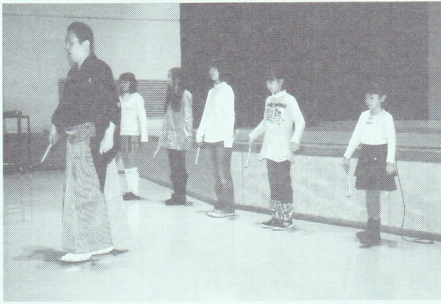
1月17日、金沢区民活動センター内交流コーナーで開催されたランチタイム・コンサートに、琴アンサンブル金沢桐韻会が出演しました。

お琴は情景描写が得意です。このテーマのもと、瀬音・鷹・衛兵の交替と弾き進めました。そして最後の曲は冬から春への唱歌童謡メドレー。

お琴の音色を伴奏に会場は大きな歌声につつまれ、一足早く春の暖かさが訪れたようでした。

お琴という自分たちだけの世界から、こういう機会をいただいていた皆さんの方々と交流ができて、とても幸せな時間でした。





親と子の能の魅力体験講座

9年目を迎えた今年の親子講座は、子供たちに平家の稚児の装束付けの

体験をして貰いました。これまで謡や仕舞をはじめ太鼓、鼓、狂言など毎回色々な体験を加えながら、金沢区ゆかりの能「六浦」「放下僧」を金沢区の子供たちに楽しんでいただいております。

今年も「六浦」の仕舞、謡の体験もしましたが、何とんでも17名の子供たちが、重たい装束の長い袴を引き摺りながら舞台を歩いた体験が、皆さんに喜んでいただけました。

この講座を受けたことをきっかけに、何人もの子供たちが毎月2回開かれている子供セミナーに通い、本格的に櫻間先生より楽しく指導を受けています。今回その成果を、この講座で披露することも出来ました。

また、「称名寺薪能」で、「放下僧」の連吟の参加を子供たちに毎回呼び掛けていますが、今年最高の15名の参加希望がありました。5月7日に行なわれます薪能には、浴衣を着たかわいい子供たちの姿が見られるのが大変楽しみです。

この講座を受けた子供たちが大きくなった時、装束に触れてみたこと、扇を持って仕舞の体験をしたことなど懐かしく思ってもらえることが出来、それが又何かの役に立ってくれることが出来たらと願っております。そして次回も皆さんに喜んで頂ける企画を考えています。

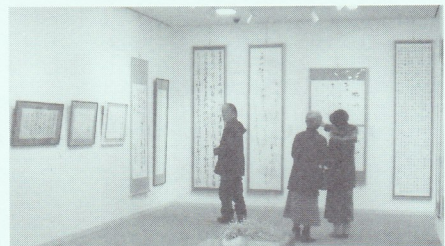


第24回

金沢区書道協会展

第24回「金沢区書道協会展」(主催 金沢区書道協会、共催 NPO法人横浜金沢文化協会、後援 神奈川新聞社・書道春秋社)は、平成23年2月2日(水)～7日(月)、磯子区民文化センター・ギャラリーで開催されました。

明るい会場に入ると近代詩文・仮名等、小額の作品が並び、迎えてくれました。半折作品は、それぞれ多様な趣で観るものを和ませ、大作は、大字と小字を組み合わせ、細かい漢字作品、そして、伝統的厚重な漢詩。また、茶掛けや彩色の絵入り作品もあり、個性あふれる作者の心が伝わってくる楽しい展覧会でした。



梅見茶会



本年2月5日(土)に実施した金沢自然公園梅見茶会は、3月並みの暖かさに恵まれ、趣向を凝らした梅林での野点席、公園作成の素敵な立礼棚を使用、体験コーナーも設置しました。お客様は梅を愛でながらの茶会でした。お客様は、の方も大勢見えられ大盛況でした。また常連の昨年も地域の多くの催しに茶会として協力しました。10月24日(日)の旧伊藤博文公別邸復元一周年記念祭では、同邸「夕照の間」で茶会を担当。伊藤公御夫妻の遺影に供茶をしてから開席し、大変好評でした。11月10日(水)、八景島でAPBC関係の茶会を催しました。今後とも、「和敬清寂」の精進のもと地域に貢献する所存です。

金沢フォトクラブ写真展

写真展は2年に一度、市民ギャラリーで行われます。写真展に向けて準備のスタートが5月より始まり、普段の役員の他に実行委員を作り、役員も加って課題作品の展示の仕方、案内ハガキ等々。特に我がクラブは、自由作品がそれぞれの個展形式で進められているため、ユニークさもあり好評を得ています。

いつの間にか15年も経過し、お願いしている先生の難しい講義は難問苦問ですが、何とかクリアして、そのせいか、それぞれが自由に被写体に向かって個性を伸ばしています。生徒の年齢も、65歳から80歳と高齢になり、ますますこれから人生経験豊富な作品作りができそうです。会員数20人あまりが、写真展で大いに盛り上がります。この年齢で夢中になれるもの、皆で一つになってやれるもの、それが写真展です。



文化協会行事予定(日程順)



Table of cultural association events with columns for date, event name, location, and phone number.

顧問名簿

(五十音順)

Table of advisors (顧問) with columns for name and phone number.

賛助会員名簿

(五十音順)

Table of sponsors (賛助会員) with columns for name and phone number.

個人会員紹介



合唱部 榎本あけみ
思えば合唱との出会いは、子どもが小学校を卒業する年に役員...

書道部 松野ヒサ子
厳寒の候、寒空の中に紅梅白梅が凛として芳しい香りを漂わせ咲き始めます...

賛助会員紹介

金沢民謡舞踊普及会 青木 久子
金沢区制60周年記念の年に、金沢民謡舞踊普及会は、50周年春季大会を金沢公会堂で開催しました...



編集後記

会報を編集するに当たり、常々痛感することは、会員の皆様のたくまざる文化的活動の華々しさ・素晴らしさです...

編集委員

- 一之瀬 炯次・氏家 総子・小櫃 健一
後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一
鈴木 稔・野中 建吾・坂 直孝
森川 淳子 (五十音順)